

ハンドルの重みは命の重み

交通事故ゼロを目指して



公益財団法人交通遺児育英会

会長 石橋 健一 氏

1942年生まれ。北海道大学工学部卒業後、日新製鋼入社。呉製鉄所エネルギー技術課、本社人事部などを経て、96年交通遺児育英会に出向。事務局長、専務理事、理事長を歴任し2023年6月より現職。

ゼロ

中日ドラゴンズ

柳 裕也 投手

1994年生まれ。明治大学卒業後、2016年にドラフト1位で中日ドラゴンズに入団。現在は投手会長を務め、ローテーションの柱として投手陣をけん引する存在に。2024年度交通安全大使。



私たちの暮らしに潜む危険の一つである交通事故。一瞬の不注意が、取り返しのつかない悲劇を生む可能性があります。1969年の設立以来、交通事故で親を亡くした子どもたち（交通遺児）の学資を支援する交通遺児育英会。今回は交通遺児会長と、育英会の支援を受けて成長してきたドラゴンズの柳裕也投手に、交通遺児支援、交通事故と飲酒運転の撲滅についてお話を伺いました。

交通遺児の未来のための学びと成長を支援

——交通遺児育英会の成り立ちについて教えてください。

石橋会長 高度経済成長期、交通事故死者数が急増した昭和40年代にさかのぼります。夫を事故で失ったお母さんたちから「わが子をせめて高校にだけは行かせたい」という声が、社会を動かし、国による支援組織の設立を求める運動が起きました。その後、交通遺児はこれまでに5万8千人を超える交通遺児に、総額585億円もの支援を受けました。交通遺児育英会はこれまでに5つの事業を実行してきました。奨学生、家賃補助、運転免許取得費用補助など、子どもたちの進学や自立を支えるためのさまざまな制度を用意しています。

——交通遺児への具体的な支援内容とは。

石橋会長 「奨学生の貸与」「修学支援金給付」「学生の指導と育成」「学生寮（心塾）の運営」「交通安全の推進」の5つの事業を軸に支援をおこなっています。特に力を入れているのが、返不要の給付型奨学生が、経済的に苦しい家庭にとって大きな負担となるケースもありました。そこ

で、返還不要の給付型奨学生を拡充し、より多くの交通遺児が安心して学業に専念できるよう配慮しています。また、家賃補助や運転免許の取得費の補助などもおこなっています。

柳投手 私は小学校6年生の時に父親を交通事故で亡くし、交通遺児育英会の支援を受けていました。当時はまだ幼かったこともあり、支援のありがたみを理解していましたが、大人になった今、こうして具体的な支援内容を聞くと、自分がどれだけ支えられていたのかを実感しますね。

私たちの暮らしに潜む危険の一つである交通事故。一瞬の不注意が、取り返しのつかない悲劇を生む可能性があります。1969年の設立以来、交通事故で親を亡くした子どもたち（交通遺児）の学資を支援する交通遺児育英会。今回は交通



——交通遺児育英会では、どうして同じ境遇にある奨学生と一緒に相談相手がないといふ保護者の方の情報交換の場として活用していただいている。2022年からは、「つどい」では、交通遺児といふ同士が一堂に会し、親睦を深める場として、さらに交通遺児やその保護者同士が安心して語り合える場の提供もされています。

——交通遺児育英会では、どうして同じ境遇にある奨学生といふ同士が一堂に会し、親睦を深める場として、さらに交通遺児やその保護者同士が安心して語り合える場の提供もされています。

柳投手 そうですね。父が亡くなった時、母と妹を支えなければという思いが強くなりました。男手一つで家族を楽にさせてあげたい、その一心でプロ野球投手を目指しました。今振り返ると、父との何気ない時

間が、今の私を支えているのだと思います。あとには自分がプロ野球投手にならなければという思いが強くなりました。男手一つで家族を楽にさせてあげたい、その一心でプロ野球投手を目指しました。今振り返ると、父との何気ない時

間が、今の私を支えているのだと思います。あとには自分がプロ野球投手にならなければという思いが強くなりました。男手一つで家族を楽にさせてあげたい、その一心でプロ野球投手を目指しました。今振り

石橋会長 親御さんとの夢を全力で応援をしてくださいましたね。親御さんと一緒に野球の本を見て練習したり、バットを買つてもらったりしました。自分の夢を叶えたかったのです。

柳投手 父は野球経験者ではありませんでしたが、自分の夢を叶えたかったのです。

——柳投手は交通遺児育英会の支援を受けながらプロ野球投手になる夢を叶えられました。親御さんとの思い出はありますか。

柳投手 野球を通じて元気を届けたい

… 奨学生利用者の声 …

制度を活用し、支えを実感 未来を拓く学びにつなげる

小学5年生の時に交通事故で父を亡くしました。高校生の頃、大学進学を希望するにあたり奨学生制度を調べた際に、交通遺児育英会を知り、支援を受けることに。無事大学に進学し、現在は情報科学研究科でプログラミングや生成AIについて学んでいます。特に生成AIの勉強はとても興味深く、将来的な活用も含めて、前向きに研究と向き合うことができています。

私は同じような境遇の子たちには、金銭を理由に学びを諦めることはほしくないと思います。交通遺児育英会では、大学の奨学生だけではなく、資格試験や運転免許の費用の補助もあり、学生生活全般をサポートしてもらっています。支援いただく感謝を忘れずに、自身の学びや未来につなげてほしいです。

愛知県立大学4年 鈴木貴大さん

希望と勇気と自立

公益財団法人
東海交通遺児を励ます会

当会は「交通事故をなくし、これ以上遺児を増やすではない」との切実な願いにより昭和44年3月に設立し、皆様の温かいご寄付、ご支援のもと東海三県の交通遺児に小学校入学や中学卒業のお祝金、キャンプ、旅行、励ます大会など催し、子ども達の「心のお守り」として保護者と共に寄り添い交通遺児の福祉の増進、交通事故ゼロを目指す活動をしております。また、今年の夏に柳裕也投手より野球観戦にご招待頂き「どんな境遇でも夢に向かって挑戦できる」と激励を受けました。未来へとばたく子ども達を関係団体等と連携・協力して参ります。



公益財団法人
東海交通遺児を励ます会
TEL 052-682-9819

——交通遺児育英会では、どうして同じ境遇にある奨学生といふ同士が安心して語り合える場の提供もされています。

石橋会長 本会設立翌年の1970年より続く「つどい」では、交通遺児やその保護者同士が安心して語り合える場として活用していただいている。2022年からは、「つどい」という、「つどい」よりも小規模な交流の場も新設し、保護者同士が安心して語り合える場を提供しています。当初はコロナの影響で中止となつた「つどい」に代わるものとして始めましたが、好評を得て今まで年間5回開催されるなど、重要な取り組みの一つとなっています。

柳投手 僕自身、育英会に支えられてきたので、その始まりました。交通遺児などの家庭の親子をパンテリンドームガヤの主催試合に招待する「柳裕也招待プロジェクト」を始められました。

石橋会長 それは素晴らしいお話をですね。お父様もきっと喜んでいらっしゃるでしょう。

柳投手 僕自身、育英会に支えられてきたので、その始まりました。交通遺児などの家庭の親子をパンテリンドームガヤの主催試合に招待する「柳裕也招待プロジェクト」を始められました。

石橋会長 それは素晴らしいお話をですね。お父様もきっと喜んでいらっしゃるでしょう。

——交通事故・飲酒運転ゼロを目標にして発信

石橋会長 ドライバーの安全意識向上のため、企業の研修や学校での無料出張講演会を実施しています。講演では、心塾生に子どもの立場での、保護者の方による立場での事故被害体験をお話いただき、交通事故の恐ろしさを伝えていきます。今度は、年間で約30回を目標に、全国各地での講演会の実施を予定しています。

柳投手 私たちも交通遺児として育ちながらも、夢を叶え、社会に貢献する姿は、多くの人々に勇気を与えてくれるでしょう。そして、交通安全の大切さを改めて訴える力強いメッセージをぜひ、多くの方に受け取っていただきたいです。

石橋会長 それは、

交通事故・飲酒運転ゼロを目標にして発信

石橋会長 ドライバーの安全意識向上のため、企業の研修や学校での無料出張講演会を実施しています。講演では、心塾生に子どもの立場での、保護者の方による立場での事故被害体験をお話いただき、交通事故の恐ろしさを伝えていきます。今度は、年間で約30回を目標に、全国各地での講演会の実施を予定しています。

柳投手 私も2024年度の愛知県警察の交通安全大使に就任し、警察の方と話す機会が増えました。そこで改めて交通安全の大切さを実感しています。自分自身も事故で悲しい思い出を持ったので、交通事故の立場での、保護者の方による立場での事故被害体験をお話いただきたいです。

石橋会長 私たちも交通遺児として育ちながらも、夢を叶え、社会に貢献する姿は、多くの人々に勇気を

与えてくれるでしょう。そして、交通安全の大切さを改めて訴える力強いメッセージをぜひ、多くの方に受け取っていただきたいです。

石橋会長 それは、

交通事故ゼロ、飲酒運転ゼロを目指して、無料出張講演を行っています。

交通遺児や保護者の方の体験を視聴いただくことは、交通安全の大切さを実感する絶好の機会となります。ぜひ、お問合せください。

交通遺児育英会は、50年以上にわたり、保護者が交通事故で亡くなったり、重度の後遺障がいのため、経済的に修学が困難になった子どもたちに、高校や大学・専門学校などの進学を支援し続けています。修学を終えると、社会に役立つ人材として羽ばたいていきます。私たちの活動は大きく5つの事業で成り立っています。

① 奨学生の無利子貸与（一部給付）

② 奨学生の指導および育成と交流

③ 学生寮「心塾®（こころじゅく）」の運営

④ 修学支援金の給付

⑤ 交通安全推進運動への協賛・協力、無料出張講演等

